

重点的に取り組む項目	重点項目の取組状況	具体的な目標			今後の取組方針	備考・その他
		数値目標	目標値	9月末現在達成状況		
<p>■ 施設の計画的整備および美化愛護推進事業の実施</p> <p>①小中学校や幼稚園をはじめ社会教育・スポーツ施設の整備や改修、維持補修を計画的に行うとともに適切な管理による施設の長寿命化を図ります。</p> <p>②学校(児童生徒を含む)と地域ボランティア、保護者が協働して、学校や幼稚園の軽微な修繕や環境保全活動を実施し、学校等の美化や環境改善に努めます。</p>	<p>①豊小学校改築工事第2期(北校舎)を、4月に着手しました。また、鯖江東小・立待小・北中山小の耐震補強工事についても4月から着手し、年度内完成に向け施工中です。</p> <p>②年度当初の計画に沿って、地域の方々の協力を得て実施しています。</p>	<p>① ◆小中学校の耐震化率</p> <p>【豊小学校校舎改築による耐震化(新北校舎建設)】</p> <p>② ◆全小中学校、幼稚園で美化愛護推進事業</p>	<p>50棟/60棟 83.3%</p> <p>5回</p>	<p>3校施工中</p> <p>平均4.6回</p>	<p>①耐震化の推進については、第4次地震・防災緊急事業5箇年計画に沿って、平成27年度までに学校施設の耐震化率100%実現に向けて取り組みます。平成24年度は豊小学校改築、鯖江東小・立待小・北中山小の耐震補強を完成させます。</p> <p>②上半期に引き続き、当初計画に基づき実施していきます。</p>	<p>小学校(12校) 61回 中学校(3校) 11回 幼稚園(6園) 25回 計(21校) 97回 ⇒平均4.6回</p>
<p>■ 小中学校における基礎学力の定着と向上</p> <p>①基礎学力の定着と応用力を養うために、児童の学習到達度を適切に把握し、指導の改善工夫等を行うとともに、新聞を活用した授業を推進し、一層の学力向上を目指します。</p> <p>②地域の歴史や文化を学ぶとともに、小学校では地場産業製造体験や施設見学、中学校では職場体験やデザイン実習をおおして、本市産業の理解を深め職業観を育てる活動に取り組みます。</p> <p>③学校図書館の活性化に努め、子ども読書の推進を図ります。</p>	<p>①7月に、市内全ての小学校4～6年生を対象に確認テストを実施し、分析を行いました。また、市内全ての小学校5・6年生の全学級に子ども新聞の購読、中学校には地方紙・全国紙の2紙の購読を実施しています。</p> <p>②7月から12月にかけて、市内全ての小学校においていずれかの学年が眼鏡体験、漆器体験、石田縞の見学を行うことを目標に取り組んでいます。また、全中学校においていずれかの学年が7月にデザイン実習を行いました。</p> <p>③朝読書、読書月間の実施により、読書の推進を図りました。</p>	<p>① ◆自主制作による市確認テストの実施</p> <p>◆児童・生徒用新聞の購読 小学校5・6年全学級(週刊子ども新聞) 各中学校2紙(全国紙・地方紙)</p> <p>② ◆眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校の1学年の全児童を対象に実施</p> <p>◆眼鏡のデザイン実習の実施 全中学校の1学年の全生徒を対象に実施</p> <p>◆ものづくり博覧会への参加</p> <p>全中学校の1学年の全生徒を対象に実施</p> <p>③ ◆学校図書館の活性化 図書の出し冊数</p>	<p>2回</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>年1人30冊</p>	<p>1回</p> <p>100%</p> <p>25%</p> <p>100%</p> <p>未実施</p> <p>年1人10.2冊 (8/31現在)</p>	<p>◆ 11月に2回目の確認テストを実施予定です。</p> <p>◆ ②眼鏡体験、漆器体験、石田縞の見学については、12月までに残り9校が実施予定です。</p> <p>◆ 11月16日に開催されるものづくり博覧会へ、全中学校においていずれか1学年の全生徒が参加予定です。</p>	<p>12校中12校実施 3校中3校実施</p> <p>12校中3校実施</p> <p>3校中3校実施</p> <p>小学校15.3冊、中学校1.1冊 (8/31現在)</p>
<p>■ 食育の推進</p> <p>子どもたちの健全な心身の成長のため、食育を教育の基盤として位置づけ、その推進に努めます。</p> <p>①規則正しい食生活は、健康な生活の基本であることを児童生徒、保護者等への理解を深め、朝食摂取率の向上を目指します。</p> <p>②食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育むため、地域との連携により学校給食畑を全小学校に設置し、活用を図りながら地場産(鯖江産)野菜等の使用率の向上を目指します。</p>	<p>①小中学校および幼稚園において、児童生徒、保護者に機会あるごとに規則正しい食生活の重要性を説明し啓発を行いました。</p> <p>②学校給食畑事業や地場産農畜産物利用拡大事業学校菜園等における農業体験を通じ農業や農産物への理解を深め、農業者や食材への感謝の気持ちを深めるとともに、地場産(鯖江産)農畜産物の使用率向上を図りました。</p>	<p>① ◆朝食摂取率</p> <p>② ◆地場産(鯖江産)食材使用率</p> <p>◆地場産給食の日 全小中学校</p>	<p>100%</p> <p>30%</p> <p>2回</p>	<p>未調査</p> <p>未調査</p> <p>1回 (6/19実施)</p>	<p>◆ 平成24年11月および平成25年1月にアンケート調査を実施し、朝食摂取率を算出します。</p> <p>◆ 平成24年6月および11月に地場産使用率の調査を行い、平成25年2月を目処に使用率を算出します。</p> <p>◆ 11月実施予定</p>	<p>平成24年6月に実施した地場産使用率の調査結果は、10月頃に福井県より報告予定</p>
<p>■ 幼児教育の充実</p> <p>小学校への円滑な移行を図るため、幼稚園と小学校の交流事業の充実に努めるとともに、地域に開かれた園として子育て支援活動に取り組みます。</p>	<p>幼児と児童の交流の機会を設けたり、幼小の教師との意見交換する等、幼稚園と小学校の間で連携を図っています。また、未就園児の登園日について年間計画を立て計画的に取り組みました。ゆたかこども園では週3回園開放を行っています。</p>	<p>◆ 幼稚園と小学校の交流事業</p> <p>◆ 園開放事業「遊びにおいで」の実施</p>	<p>各園 10回</p> <p>各園 12回</p>	<p>各園 7回</p> <p>各園 12回</p>	<p>◆ 小学校と連携を図りながら、円滑な移行の在り方について検討します。</p> <p>◆ 園運営に支障のないよう、実情に応じて工夫しながら実施します。</p>	

重点的に取り組む項目	重点項目の取組状況	具体的な目標			今後の取組方針	備考・その他
		数値目標	目標値	9月末現在 達成状況		
■ 地域の教育力の向上 ①地域住民が組織的、主体的に地域の小学生を対象に地域の公民館等で宿通学事業を行い、地域住民と子どもたちが交流し触れ合うことにより、地域の子どもは地域で育てるといふ地域内での意識の醸成や地域の教育力の向上を図ります。 ②生涯学習人材バンク制度において、様々な知識や技術・特技・経験を身に付けた地域人材の登録を充実し、生涯学習講師・指導者・スタッフとして、また生涯学習のまちづくりの推進者として活躍していただくなど、この制度を有効に活用し生涯学習の推進を図ります。	①公民館合宿通学事業は、6月、7月、9月の各月に3地区ずつ、計9地区で実施しました。参加児童数は前年度同様、約70%にあたる494人(見込み)が参加し、運営については、全実施地区で、地域の方々が主体となって行う実行委員会方式で実施しました。 ②生涯学習人材バンク登録を、社会教育施設やホームページ等を通して推進しました。	① ◆公民館合宿通学事業の実施 ◆公民館合宿通学事業の地区実行委員会の設置 ② ◆地域人材バンク通算登録数	10回 500人 10地区 110人 10団体	9回 494人 9地区 108人 6団体	① 公民館合宿通学事業について、年内に実行委員会等関係者を集め、次年度の実施に向け、反省・検証等の会議を開催します。 ② 社会教育施設やホームページ等を通して登録を促すととともに、登録者の活用を推進します。	全地区での実施を予定していたが、今年度は9地区で実施
■ 家庭の教育力の向上 地域の親子や子どもを対象とした鯖江市こどもまつりの開催を支援するなど、地域の親子や子ども同士が触れ合い絆を深める機会を提供し、家庭教育力の向上を図ります。	市子ども会連合会等関係団体と、事業の実施に向けて協議しました。	◆ 鯖江市子どもまつりの参加者数	300人	未実施	◆ 10月21日に開催予定です。	
■ 文化財の調査、保存、啓発の推進 ①古墳群をはじめとする貴重な文化遺産を幅広く調査し保存の処置を講ずるとともに、優れた伝統芸能や技術を継承する市民・団体の文化財指定も進め、文化財を後世に引き継いでいくための事業を推進します。 ②市内の神社に奉納されている絵馬や指定文化財について、市民がさらに理解を深め、その保存と活用について身近に考えることができるような事業を開催します。	①文化財指定については、6月に委員会を開催し、平成24年度調査物件を決定しました。現在は、専門研究者に調査を依頼しています。登録文化財については、8月に2件の現地調査を実施しました。これとは別に、市内石碑等の悉皆調査を継続中です。 ②文化財の活用 ・まちかど歴史浪漫コンサート 9月16日(日)に開催 ・間部プロジェクト講演会 1回目:5月19日(土)に開催 2回目:8月4日(土)に開催 ・間部プロジェクト学習会 6月2日から9月22日までに7回開催しました。	① ◆国・県・市指定および登録文化財数の増加 ② ◆各イベントでの目標参加者数 ・まちかど歴史浪漫コンサート ・絵馬についての企画展示 ・間部詮勝プロジェクト講演会(3回) ・間部詮勝プロジェクト学習会(10回) ・古墳見学会、説明会(3回)	8箇所 合計1,700人 300人 600人 200人 300人 300人	未実施 合計 710人 300人 未実施 2回 200人 7回 210人 未実施	① 登録文化財については、昨年申請分の4件について10月上旬に登録の内示予定です。市指定文化財については、11月中に文化財調査委員会の現地視察を行い、1月の委員会で指定の答申を受ける予定です、10件以上が答申を受ける予定です。 ② 絵馬の企画展示は、11月10日～12月9日に開催予定です。現在、展示資料の借用について事務手続きを行っています。 古墳群見学会は、調査進捗を見て10月以降に開催予定です。	瀧波家住宅(本町3丁目)主屋、離れ座敷、大蔵、道具蔵の4件を登録有形文化財に指定するよう、文化審議会が文部科学相に答申(9月21日)

重点的に取り組む項目	重点項目の取組状況	具体的な目標			今後の取組方針	備考・その他	
		数値目標	目標値	9月末現在 達成状況			
■ 文化活動への参加と文化に触れる機会の提供 登録博物館であるまなべの館を広く活用して、市民が、直接文化芸術に触れて、鑑賞・参加・創造することができる機会を提供するとともに、子どもたちが伝統文化に触れる機会の充実を図り、市民の文化意識の高揚と郷土に対する愛着心の醸成に努めます。	4月14日～5月20日に、企画展 助田茂蔵回顧展「美しきもの満つ」を開催しました。 8月11日～10月14日に、企画展 さばえ×ひびのこづえ コスチュームアート展を開催しています。 7月22日に、小学校親子を対象にした芸術文化体験事業 まなべDEわくわく！アートフェスタを開催しました。 8月22日に、大阪和泉市いぶき野小学校の子ども文楽クラブと和泉市教育委員会が立待小学校を訪問し、文楽公演を通して交流を深めました。	◆ まなべの館企画展開催事業	来場者数	5,000人	7,391人	◆ 11月10日～12月9日に、企画展「よみがえる絵馬展」を開催予定です。 ◆ 市美術展(第5回)については、10月から実行委員会・運営委員会を開催し、昨年度の反省点や課題を洗い出し、それに対してどのように対応するかなど内容を検討します。 会期 平成25年3月2日～10日 7部門 3会場 ◆ ふるさとさばえ検定(第5回)については、さばえに興味を持つ市民を増やすため、基本問題に重点をおいたものとします。(間部公と近松関連基本問題100問) 平成25年3月3日検定実施予定	2企画展実施 参加人数740人
		◆ 子どもたちを対象にした芸術文化体験事業	参加者数	200人	350人		
		◆ 「子ども文楽」を通じた小学校間の交流促進	交流事業	1回	1回		
		◆ 市美術展の開催	出品数	450点	未実施		
			来場者数	16,500人	未実施		
			アートスタッフボランティア	180人	未実施		
	◆ ふるさとさばえ検定の実施	受験者数	100人	未実施			
■ 青少年がスポーツに親しむ環境づくりの推進 青少年の心身の健全な発育・発達を願い、生涯を通してスポーツに親しむことができるよう、地域住民が自ら運営する総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、スポーツクラブ相互の連携・協力を強化するための体制の構築に努めます。また、スポーツ少年団育成については、学校と各種スポーツ団体と連携して一層の加入促進を目指します。	3つの総合型地域スポーツクラブのPR活動のため、共通パンフレットを全戸配布しました。また、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会による各団体間の連携強化を図るとともに、各団体に活動支援補助金を支給しました。加えて、スポーツ少年団の加入促進を図るため、各小学校を通じて加入促進のPR活動(チラシの配布)を実施しました。	◆ スポーツクラブ会員数	2,100人	1,989人	各クラブが企画運営する会議やイベント、広報を積極的に支援し、スポーツクラブ会員数の増加に努めます。また、スポーツ少年団については、主体である各単位団と協調を図り、一層のPR活動に努め、団員数の増加を図ります。	・総合型地域スポーツクラブ会員数 さばえスポーツクラブ 1,044人 東陽スポーツクラブ 449人 鯖江北コミュニティスポーツクラブ 496人 ・スポーツ少年団加入者 909人 (生徒総数 4,386人)	
		◆ スポーツ少年団への加入率	23.5%	20.7%			

重点的に取り組む項目	重点項目の取組状況	具体的な目標			今後の取組方針	備考・その他
		数値目標	目標値	9月末現在 達成状況		
■ 市民各層におけるスポーツ習慣の定着と市全体の生涯健康および生涯スポーツ社会の推進 鯖江の恵まれたスポーツ環境を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめるようスポーツ教室やスポーツイベントの開催を通じて、元気と活力あふれるまちづくりを目指します。また、高齢者・障害者向けのスポーツ教室を開催し、スポーツ推進委員やスポーツ指導者と連携しながら、だれもがスポーツを続けられる社会を推進します。	市民体育大会をはじめ、各種スポーツ大会やスポーツ交流事業を開催しました。また、広報誌によるスポーツに関するPR活動、地区老人クラブ、児童に対しての出前講座を実施しました。また、毎週1回のニュースポーツ教室の実施や障害者用スポーツ器具(サウンドテニス)を配置し、障害者スポーツ活動の向上を図りました。	◆ 小学校・老人団体等へスポーツ出前講座	15回 600人	8回 454人	引続き、広報誌等によるPR活動の実施、各団体へへの出前講座、毎週1回のニュースポーツ教室を実施し、スポーツの普及に努めます。 また、高齢者、障がい者のスポーツの普及に努めます。	・ニュースポーツ教室 14回 289人 ・元気チャレンジ事業 2回 スポーツ交流事業(明治大学卓球部) 参加者 250人
		◆ ニュースポーツ教室・元気チャレンジ事業	22回 500人	16回 539人		
■ 文化の館における市民との協働事業の開催および学校図書館支援センター事業の推進 ①最先端の研究や深い思索を行っている講師を招き、「ライブラリーカフェ」や、地元の演奏家などを招いて「カフェコンサート」を開催します。また、これらを「市民と友の会と大学と図書館との協働」という全国的にも例を見ない手法で実施し、市民の文化の拠点とします。 ②「学校図書館支援センター」として、対象年齢別に読書支援イベントを実施し、子どもの読書活動を支援します。	①「ライブラリーカフェ」や「カフェコンサート」では、県立大学とも連携し、身近な市民の体験談や地場産業界について、講師を招き開催しました。 ②子どもの読書活動推進を、「学校図書館支援センター」として対象年齢別に読書イベントを開催しました。 ・「ブックトーク」: 学校の希望や学年に応じたテーマで事業を展開しました。 ・「こどものつどい」: 協力ボランティアとの協働および仁愛大学生の参加を得、新鮮で魅力ある催しの実施に取り組みしました。 ・「本との素敵な出会い」: 協力ボランティアと協働し、園児が興味を持つお話会の実施に取り組みしました。 ・「絵本とよちよち1・2・3」: 読み聞かせとわらべうたなどを行い、絵本や言葉の楽しさを親子で感じてもらいました。 ・「あかちゃんと絵本のひろば」: 絵本や言葉のリズムの心地よさにふれてもらい、親子が本を媒介として触れ合うことの喜びと大切さを伝えました。 このような活動から、幼稚園や保育所(園)での幼児への読み聞かせや、保護者への読み聞かせの大切さを感じる人が増えており、講演要請も増えています。 ・「図書館司書の日」: 学校図書室の整備や読書相談、読み聞かせ、教科学習や調べ学習に関連した資料の提示をはじめ、学校と地域、学校図書ボランティアとの協働と連携をすすめ、子どもたちの読書活動への関心を高めました。	① ◆「ライブラリーカフェ」	12回 400人	6回 322人	① 全国的にも例を見ない市民等の協働について県外からも注目されており、今後も継続します。 ② 子どもの心を育む事業として、子どもの読書活動の支援を進めます。	うち、県立大学との連携で2回開催 対象: 小学4年生～ 13校から要請、6小学校361人に実施 対象: 3歳～10歳 対象: 年長児5歳 18園484人に実施 対象: 1・2・3歳児とその保護者 対象: 0歳児とその保護者 対象: 市内小中学生 学校からの要請66回にすべて対応
		◆「カフェコンサート」	3回 200人	1回 90人		
		② ◆こどもの読書支援イベントの実施				
		・「ブックトーク」	学校の要請 対応率	80%	46%	
		・「こどものつどい」(毎週土曜日)	42回 500人	24回 317人		
		・「本との素敵な出会い」	年長児総数 661人への実施率	80%	72.6%	
		・「絵本とよちよち1・2・3」	12回 150人	6回 106人		
		・「あかちゃんと絵本のひろば」	12回 120組	6回 112組		
		・「図書館司書の日」実施	学校の要請 対応率	80%	100%	

重点的に取り組む項目	重点項目の取組状況	具体的な目標			今後の取組方針	備考・その他
		数値目標	目標値	9月末現在 達成状況		
■ 高年大学の活性化 ①健康長寿および社会貢献(社会参加)を目的として、引き続きカリキュラムに反映させます。 ②大学の活動を地域の諸活動とつなぎネットワークとして組み込むため、高年大学まちなか授業や課外授業などの「市民公開講座」を開催します。 ③受講生による学内ボランティア活動をより活発に推進します。また、受講生の社会貢献(社会参加)活動を支援するため、市の生涯学習・スポーツ人材バンクへの登録を促進し、具体的な活動につながるように調整します。 ④高年大学のIT環境を整え、IT事業を推進します。	①健康長寿推進カリキュラムに、食と健康、体操、健康体操、認知症を取り入れ、社会貢献(社会参加)では各コース共通で2講座を実施し、現役学生と高年大学受講生の交流企画を実践しました。 ②大学の活動を地域の諸活動とつなぎ、ネットワークとして組み込むため、高年大学まちなか授業「市民公開講座」に加え、高年大学学舎における課外授業やIT推進「高年者のためのフェイスブック入門」講座を企画・開催しました。 ③学内での社会貢献については、草花ボランティアはグリーンカーテン事業と花壇・プランター花づくりを、図書ボランティアは図書の整理整頓や台帳整備を、営繕ボランティアは旧機械室を倉庫に改修、清掃・整頓ボランティアは倉庫などの整理整頓を実施し、学内美化活動とボランティア活動などを自治会と連携しながら活発に行いました。 ④高年大学のIT環境については整備を完了し、IT推進事業として、パソコンクラブのカリキュラムの見直しに基づいて実施した。また、「高年者のためのフェイスブック入門」講座も市民公開で実施しており、この講座でfacebook(FB)登録者が10倍となりました。	① ◆健康・体育関連授業	45回 2,000人	27回 1,122人	① 健康長寿推進および社会貢献(学びを生かす)を目的とする各コース学習を、今後もカリキュラムに従い実施します。 ② 高年大学学舎における課外授業のIT推進として、「高年者のためのフェイスブック入門」講座の利用を促します。 ③ 学内での社会貢献として草花ボランティア、図書ボランティア、営繕ボランティア、清掃・整頓ボランティア、草刈ボランティアの各活動を、学内美化活動や自治会とも連携しながら継続します。また、閉講式から次年度の開講式までの空白期間も継続した活動ができるように、すべてのボランティア参加者の意見をアンケートで集約し代表者による意見交換会を開催します。受講生による学外における社会貢献活動については、今後、生涯学習・スポーツ人材バンクの登録を促進し、受講生の力を積極的に活用できるようにします。 ④ 高年大学のIT推進事業では、今後もブログやfacebookで、受講生による高年大学活動の情報発信を行います。 また、パソコンができなくても情報を見ることができるよう、自治会やIT・広報委員会、写真・記録委員会と連携して校舎内の環境を整備します。	
		◆社会貢献関連授業	18回 700人	14回 586人		
		② ◆公開講座開催	10回 500人	11回 303人		
		③ ◆人材バンク登録者数	20人	10人		
		④ ◆IT推進研修会の開催	7回 130人	14回 232人		
◆無線LAN接続申請者	50人	105人		(研修) 6回 118人 (facebook) 8回 114人		